

# 平成26年度自己評価結果公表シート

作成 ひまわり幼稚園

## 1、本園の教育目標

子ども一人ひとりの個性を大切にしながら、他者との関わりと積み重ねる経験の中でがんばる気持ち、達成する喜び、意欲的に生きる力を育てる。

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ◎教育課程の内容の確認と職員間の相互理解を深める。
- ◎運動的な活動に限らず、遊びの中で身体を動かすような援助を工夫する
- ◎教師としての資質や保育技術を高めるため、保育者が自発的に研修に参加し、努力する。
- ◎子どものつぶやきを大切にし、子どもたち自身で話し合い、気持ちを表現したものを受け止める。
- ◎表現する意欲を受け止め、楽しめるよう工夫する。
- ◎自発的に活動できる環境を整備し、遊びを深め、興味関心の幅が広がるようにする。
- ◎記録をとることで、園児それぞれに対する保育者のかかわりについて確認する。
- ◎支援の必要な園児に対して、担任だけでなく、全職員で見守り、園内研修を通して幼児の発達を理解していく。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目		取組状況
幼稚園の教育方針を理解し、教育課程の編成、実施に関して教職員間の共通理解をはかる。	B	学年主任を中心に組んだ指導計画を学年全員で話し合い、計画をたて、共通理解をはかる。
運動的な活動に限らず、遊びの中で身体を動かすような援助を工夫する。	B	体育指導の意義の共通理解を深め、心身を鍛えるとともに、社会性やルールを学ぶ。
保育技術を高めるための努力をし、実際の保育に生かす	C	保育者それぞれが自主的に研修に参加したり、新たな目標をたてたりすることができていない。
子どものつぶやきを大切にし、子どもたち自身で話し合い、気持ちを表現したものを受け止める。	B	年長児は日々子どもたちと話し合い、考える機会を大切にし、興味が広がり意欲的に取り組める
表現する意欲を受け止め、楽しめるよう工夫する。	A	行事にとらわれず、すべての子どもたちが意欲をもって取り組むよう進めるよう努力した。
記録をとることで、園児それぞれに対する保育者のかかわりについて確認する。	B	学期の最後にまとめて書くなど、個人でばらつきがあり、メモ程度でもよいので徹底する必要がある。
支援の必要な園児に対して、担任だけでなく、全職員で見守り、園内研修を通して幼児の発達を理解する。	A	区役所や医療機関等と連携し、勉強しながらそれぞれの子どもに必要な育ちを考えることができた。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

目標や計画について、取り組みは積極的に行われたが、振り返りが不十分であり、成果が十分に出ていない目標を次年度も引き続き取り組んでいく課題とする。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
幼稚園の教育方針を理解し、教育課程の編成、実施に関して教職員間の共通理解をはかる。	フリー教員を交えての職員会議を充実させ、設定される行事や課題に対する意見交換を積極的に進めるとともに、個々の園児の姿を園全体でつかめるよう報告しあう。
防災計画、訓練を計画的・積極的に取り組んでいく。	月一度の訓練は必ず行い、地域の他施設と協力し、色々なパターンを考えた避難訓練を行っていく。
支援の必要な園児に対して、園全体で見守り、子どもの発達を理解する。	外部機関と連携を丁寧にとりながら、園全体で支え、担任一人で抱えることなく、育ちをサポートしていく。
子どもたちが自分で行動し、相手の思いや気持ちに気づいていけるような援助や機会を設ける	友だち同士の関係においてのみならず、日常の挨拶やルールを理解し守り、社会生活をスムーズに送っているか、会話がきちんとなされているかを意識する。
表現する意欲を受け止め、子どもの思いを發揮できるよう配慮する。専門的な分野についても、遊びの中で興味関心が伸ばせるよう環境づくりを工夫する。	保育の振り返りや、毎日の出来事を学年で話し合い、発達や年齢に応じた保育内容を実践していく。ひきつづき音楽や数、図形、文字、科学遊びなど、興味をもてるよう意識した環境づくりも徹底する。

#### 6、学校関係者の評価

それぞれの取り組みに対して、熱心に丁寧に行っており、地域との交流も小中学校を中心に積極的に行っていると評価する。特に支援の必要な子どもたちへの取り組みに対して、非常に研究を熱心に重ねていると判断された。

#### 7、財務状況

借入金もなく、特に問題はない。